

レーゼクライス塾通信

(1999 年第2 号) (11 月8 日発行)

相変わらず、通信の発行が滞っています。何らかのまとまったものをと考えたり、日々の忙しさの中で、「明日には」と思っているうちに、随分時間が経ってしまいました。

塾のホームページに「塾長のつれづれなるままに」という日々の雑感を記録しているのも（それを一体どれくらいの人を読んでいるのだろうという問題があるにもかかわらず）、何となく「通信」を発行している「気にさせる」原因の一つかも知れません。

そこで、その「つれづれなるままに」や塾の掲示板に書き込まれたものから、とりあえず『塾通信』を構成するという「離れ業？」を思い付きました。

ホームページの記述が新しいものが先に来るシステムですから、（実は面倒なこともあって）、その形式のままにしておきます。



左の写真は、現在のホームページを飾っているものです。合宿所の周りのコスモスです。（カラーなら！）

(1999/11/7)

【よくぞ、何とかなっている！】久しぶりの更新です。本当は今日も、そんな余裕はないのですが、余りの忙しさに、今週は、新○君と、H君が帰ってくれています。Mさん、K君、等々、読んだら、分かっているよね！（考えてみれば、京都は2時間くらいですし、大阪は1時間半くらいですから、「通勤圏」ですよ！徳島は？）そして、高校の「第3回学力テスト対策」が今日で終了です。たくさんのテストを作り、模範解答を書き、一つの「テスト対策」が終了すると、「手は棒！」です。（おまけに山ほどの採点！）テストの前には、もちろん授業をし、それでも問題集が間に合わないから（生徒が解くの

が）、《模範解答》（もちろん自作の）を作って配布しなければしかたがありません。この2週間の平均睡眠時間は約5時間でしょうか。（それでも平均4時間の時期のことを考えれば、まだましかも？）夜の0時から3時・4時頃は、まず99%仕事をしています。その後、少しの眠りにつくと、「常識的時間帯？」で生活している人から（つまり、朝8時や9時に）電話がかかったりします。（早急に、電話を別にしないと・・・）よししてくれ～！

更に、（本当はこちらが本命なのですが）、高3のセンター試験対策を本格化しなければなりません。予備校部生も受験を始めましたから、昨年と同じものを使う訳にはいきません。ということは、新しいものを（最近のセンターの傾向をふまえて）作らなければならないということになります。いろいろなセンター試験用の問題集から「切り貼る」のですが、それはそれで大変です。（数学は新しい「マークシート」を製作したので、今までのものがそのままは使えませんし。）また、2次重視大学（東京・京都・一橋・大阪）の受験生も多く、12月中旬までは、いわゆる2次用の演習を継続しなければなりません。

また更に、中3の方も大変です。全員が「志望校ラクラク」という状況ではありませんから。相変わらず行われている「学習の診断」テストにも備えなければなりません。（第4回が11月24日！）中学校によっては、「テスト範囲」すら授業しないところがありますから、補わざるを得ません。それが済むと、すぐに2学期期末試験です。子供たちもかわいそうですね！

でも、いつもそうなのですが、こちらの必死のテストや対策に、確かに応えてくれる多くの子供たちが（いや少数か？）いることは確かであって、それなりの結果も含めて、そうした子供たちの存在が、ユンケルを飲みつつも、何とか頑張っている力の源泉だと思えます。

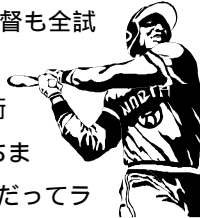
【ですから、みなさん！】ホームページの更新が遅れても、決してサボっているのではなく、物理的



な(時間的な)制約のためだということで許して下さい。また、こりずに、掲示板への書き込みやメールをよろしくお願いしますね。たまに書き込んでくれたり、メールをくれるみんなの言葉に元気付けられているんですから！特に、卒塾生諸君！掲示板に、何でもいから書き込んで下さいね。更新が遅れているときは、忙しいときですから、みんなで協力して、「カビが生えない」ようにお願いします。

(1999/10/24)

【市長杯優勝！】今日行われた坂出市の『市長杯争奪ソフトボール大会』Aクラスの部で、『ニューファイターズ』(塾長が監督、塾出身者が大半を占める)が見事に優勝しました。決勝戦は、YKK四国との対戦で、同点のままの最終回の表の攻撃で3点を取られ、敗色濃厚の中、その裏の攻撃で4点を取り、逆転サヨナラ勝ちをおさめました！最高殊勲選手は、新明君！(4打数の4安打1本塁打の上に、最後のサヨナラヒットも！)監督も全試合出場し、準決勝では(相手は「日の丸」をつけた善通寺自衛隊！)、3ランホームランを打ちました！(足がつりそうでした！だってランニングホームランですから。)



【ちょっとした驚き】高校野球、秋の県大会の『四国大会代表校』が今日決まりました。何と、丸亀と高松！いわゆる香川の1・2の「進学校」になりました。多分、こんなことは初めてでは？で、四国大会で、もし1勝でもすれば、何と、『春の選抜大会』、つまり甲子園に出場することになるのです。ちょっとした驚きと同時に、期待を持たせますね。四国大会の結果は、またお知らせしましょう。

▼ホームページ掲示板から

速報 2！投稿日：11月03日(水)00時49分12秒

「明治神宮大会」の組み合わせは、すでに決定しており、丸亀は、14日の8時半から神宮球場で「敦賀気比」と当たるようです。相手は、北信越大会を(圧倒的な強さで)勝ちぬいた優勝校です！東京近辺にいる諸君！ぜひ(誘い合って)神宮まで応援に行きましょう！

速報！投稿日：10月30日(土)15時17分19秒

今日、丸亀高校と高松高校の高校野球秋の県大会決勝戦が行われ、4-3で丸亀高校が勝ち、県代表1位校として、四国大会に出場することになりました！また、明治神宮大会に四国代表として出場することも決まりました！来年の春、「選抜」ということになればいいですね。(ソフトボール大会の日程に影響が出ますが！)

(1999/10/20)

【分別収集】坂出では今月から、ごみの分別収集が始まり、文書を出したり、ごみ箱を用意したりで大変でした。これは「不燃物」？これは「プラスチック」？これは「燃えるごみ」？と、大変です。どこかのCMにあったような「ごみの分別」が趣味の人がいればいいんですが。でも、考えてみれば、今までがおかしかったんですね。不燃物とプラスチック(資源ごみ)は月に1回、「リサイクルプラザ」に持ち込むことにしました。

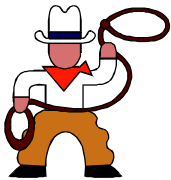
【中学校2学期中間試験中間報告】塾では、定期試験に対して、いわゆる「過去問」をしたり、予想問題をしたりしていません。(最近では、「定期試験こそ塾のすべて」のようなものをみかけますが。)『テスト範囲を隅々まで』という原則を守ってきました。白峰・坂出・東部の3つの中学は既に試験が終了し、成績も出ているようです。1年から3年まで3つの中学で、6人の塾生が1位をとっています！(全部で9人ですから、ちょっとした驚きですね。)

【理系を何とか】しなければいけません。(高3の)第4回の模擬は「惨敗」でした。勿論、模擬と入試が直結するものでないことは、今までのデータが示していますが、できないよりは、できた方がいいですから。まして、いわゆる「難しいとされる大学」の受験予定者が多い訳ですから。またまた、分析に時間を食いそうです。このままでは、東京・京都で10名以上という「予定」が達成できるかどうか・・・！ちょっと、必死にならなければ、と思っています。

(1999/10/17)

【みんな気を付けよう】記録を忘れていました。

10月6日の早朝(4時過ぎ)に、本館の駐車場に、いわゆる「泥棒」が侵入し、「ムーブ」の施錠してあるドアを開け、何とカーオーディオ一式を盗みました。(定価15万円)不用心に中に置いてあった「財布」からも現金を!なぜ4時過ぎと判明したかという、「防犯カメラ」に写っていたからです!すぐに警察に連絡し、今、捜査中です。かなりはっきりと写っているので、近いうちに検挙されるはずですが……。最近では、「自転車泥棒」は当たり前、という事態が蔓延しているとはいえ、本館の(本館の2号館は1階部分がすべて駐車場兼駐輪場になっています。)奥の方に止めている車から盗



むなんて!警察の話では、ムーブが狙われているとか。みなさん用心しましょう。(用心しようがありませんけど!)それにしても、

5分を3回くらいで、あれだけのことができるんですね。(長時間作業するのでなく、1回の作業時間は5分ですよ。いや~、見事なもんです!)

【満開のコスモス】の映像を、うまくいけば明日には掲載しましょう。合宿所の旧食堂の前の休耕田が、今日、コスモスで満開でした。そういえば、いろんな写真を掲載してきたのですが、HPそのものの整理も含め、大整理をしなければなりませんね。(今日、「つれづれ」だけ、少し整理しました。)でも、それには時間がありません。

【突然晩秋】一昨日あたりから、突然、気温が下がり、夜など、「長袖」1枚では寒いくらいです。その影響からか、数名の欠席者が出ています。でもそれで平年並みなんです。長い間「ほったらかし」にしていた「バラ」の手入れを1ヶ月ほど前にしました。今、『ロイヤルハインス』が見事な花を付けています。やっぱり手入れは大事なんですね!



(1999/10/14)

【秋の香り】今年の残暑は、10月まで続きました。どうやら異

常気象は、もうどうしようもないのかも知れません。異常が異常でなくなるというのは、社会現象とも通じるものがあって、面白いものです。それでも、確実に季節は変わり、夜の空気に『金木犀』のかがりが混じるようになってきました。見上げると天頂付近には木星。そして、東の空には、『あけの明星』が。疲れた眼には、冬空の美しさも、かろうじて、南中している『冬の三大角』しか見えません!(時間が分かりますでしょうか?そうです。この忙しい日々は……)

【みんなありがとう、ね】そうした忙しい日々をかろうじて乗り切れたのは、T大の「秋休み」を利用して「運転免許」をとっていたM尾君とT坂君のおかげです。(ごめん、途中消えたけど、K西君も)1ヶ月以上、休みなく、いろんな授業をしてもらったり、採点の山を片づけてもらったり、「教え子」っていいもんですね。明日には、K大のH君が(いやKoji君だったか)帰ってくれます。試験期間中(中間試験)でも、多くの諸君が来て、質問しますし、土曜からは、高校の授業が再開します。授業の改訂パターンもスタートしますし。

【診断テストこぼれ話し】今回は、とりあえず社会だけ。「~の市町村名を書け。」という設問で、答えの筆頭は、何と「東京(23区)」!そして、それを市町村にこだわって書かなかった者は×! 地方自治の問題が出ました!クロスワードパズルを解いて(簡単なんです) 答え「チホウジチ」とカタカナで書かせる問題が!(蛇足ですが、それ、配点2点です。)そういうテストなんです。テストは、少なくとも、真面目に努力した者が報われるものでなければなりません。そうした問題が「考える力」をつける問題でしょうか?「生きる力」につながるのでしょうか?まったく、出題者の顔が見たいもんですね。というより、相変わらず、そうした馬鹿げたテストで「進路指導」をしている(復活している)状況も、異常以外の何物でもありませんね。



(1999/9/29)

【ちょっといい言葉】明日で

9月も終わりです。塾には、いろいろなカレンダーをつるしてありますが、その中の一つに、次のようなものがありました。『苦境に立った時に希望を捨てない人こそ伸びる人である。』いい言葉でしょ！確かに、いろいろな難題や苦境に類することはたくさんありますが、逃げないで、希望を持って対していきたいものですね。これは、また、メールへの返事が遅れたK君への贈る言葉でもあります。(見てるかな、K君！)「官僚の道」は、確かに大変だと思いますが、君がいわゆる「自己の利益」とは縁遠いことは分かっています！逃げるな！

【いい知らせ】掲示板にも書きましたが、K・M君が「司法試験」の論文試験を見事に突破しました。残すは、口述試験のみ。口述の合格者は90%を越えているとはいえ、100%ではない訳ですから、気を緩めず、精一杯頑張ってください。多くの「法学部」進学者の励みにもなることですから。(最近、塾の文系進学者の多くは法学部！今、手伝ってくれているM君もT君も、そして今週いるD君も。)そして、問題は、あくまでその後の進路にあります。これも、どういう立場で活動するのは、信じていますけども。

▼掲示板から

投稿日: 10月30日(土)00時36分04秒

報告...この掲示板の(元)管理人であるkakuji君が、『司法試験』の最終合格を果たしました。でも田舎の「じいちゃん」や「ばあちゃん」は、どうも、司法試験を「自動車免許の試験」くらいにしか思っていないようです！とりあえず、おめでとう！

【何気なく読んだ本】先日、久しぶりに高松の本屋さんに行きました。本屋に行くと、何時間でも費やすのが常なのですが、例によって余り時間がなく、目に付いたもののかたっぱしから購入してきました。(ほとんどは「つん読」！)その中の1冊に『なんしょんな香川 part』というのがあり、読んでしまいました。(実は、香川だけに限ったことではないのですが)教育問題について、なかなか面白いことが書いてありました。データのすべてを肯くわけではないのですが、一定の歴史性と現状分析と経営理論と経験からの提言には、なるほどという点も

多くありました。(すぐ読めるので)一読を！

(1999/9/26)

【「教える」とは】何なのかは、ずっと考えていかなければならないことですが、最近の「ある事件」をきっかけにして思ったこと(確認したこと)を記しておきましょう。「教える側」が一方的に、教える内容を教授するというのは、『教える』ことになるでしょうか？それは、「教える側」の自己満足につながっても、「教えられる側」(この場合、特に小学生や中学生に限定しておきます)の本当の知識の習得に結びつくものではありません。『ものを学び取る』とは、あくまで『学ぶ側』の主体的な取り組みと意欲が何よりも重要です。そのような姿勢が子供たちの側に見られない場合、当然、授業は中断され、『なぜ学ぶのか』等の議論に入らなければなりません。それは、ある意味で(少なくとも語りかけた相手の姿勢を観察し、共に考えるという意味で)「教える側」が子供たちから『学んだ』ことになります。そのような「教える側」の姿勢を持つことのできる者しか教えるとはいけないのだということです。

【なぜ学ぶのか】いつもよく言うのですが、『勉強は自分でするものだ』と。そして『一生懸命勉強はするものだ』と。でなければ、「勉強」を悪用する人に利用されたり、世の中の本当の矛盾や本当に美しいものや本当にしなければならないことに気づくことはできないのです。決して、「将来的利益」に結びつくものではないのです。

【なぜ塾へ】(この場合、塾とはレーゼクライスに限定しましょう。)上記のようなことを表明しながら、なおかつ塾へ来ることの意味は何か。それは、私たちが、上のような姿勢で「教え」(実は学び)『なぜ?』を原則的に考える場であればならないということに還元されます。自戒を込めて。「営利」を批判するならば、それなりの存在形式をとらなければならないということです。結局、人は、自らの『生きざま』を示すことによってでしか、人に「教える」ことはできないのですから。